

2026 年 7 月 28 日

GSTC、欧州観光マニフェスト（European Tourism Manifesto）に参画

欧州観光の持続可能性と競争力強化に向け、70 以上の組織による共同政策提言に参加

グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（以下、GSTC）は、European Tourism Manifesto（以下、欧州観光マニフェスト）に参画しました。欧州観光マニフェストは、WTTC（世界旅行ツーリズム協議会）、IATA（国際航空運送協会）、TUI Group、Amadeus など、宿泊、旅行、航空、鉄道、MICE など観光産業のバリューチェーン全体を代表する 70 以上の欧州の官民組織で構成されるアライアンスです。欧州連合（EU）における観光政策の強化に向け、観光産業の関係者が連携して政策提言や政策対話を行っています。GSTC は、本マニフェストへの参画を通じて、欧州の観光産業に関わる幅広いステークホルダーとの連携を深め、持続可能な観光の推進に貢献していきます。



■ 欧州観光マニフェストへの参画の意義

欧州では、企業によるサステナビリティに関する情報開示やグリーンクレームの信頼性向上に向けた制度整備が進められており、観光分野においても官民の連携による持続可能な発展が重視されています。

GSTC は、国際的に認められた持続可能な観光のスタンダードを策定するとともに、認証機関の認定を通じて認証制度の信頼性向上を支援しています。今回の欧州観光マニフェストへの参画を通じて、欧州の観光産業の幅広い関係者と連携し、持続可能な観光の推進に取り組んでいきます。

■観光産業の未来に向けた 4 つの重点分野

欧州観光マニフェストでは、「脱炭素化」「EU ビジョン・戦略」「接続性と国境手続き」「イノベーションと適応」の 4 つを優先課題として掲げています。これらは、気候変動への対応、EU における観光政策の強化、旅行者の移動環境の改善、そして観光地・観光事業者が社会・環境の変化へ適応していくための政策的支援を促進するものです。

このほか、競争力の強化、デジタル化、ガバナンス、欧州観光の共同プロモーション、観光需要の平準化、人材育成・スキル向上、持続可能性、交通ネットワークの強化といった幅広い政策分野について提言しています。



■GSTC CEO Randy Durband (ランディ・ダーバンド) コメント

「欧州観光マニフェストへの参画は、観光エコシステム全体との連携を重視する GSTC の姿勢を示すものです。GSTC は欧州の観光分野に深く関わっており、サステナビリティに関する主張の検証に関する現行および将来的な法的要件にも自然に適合しています。70 以上の欧州の官民組織が連携するこのマニフェストに参加できることを嬉しく思います。」

■グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（GSTC）について

グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（Global Sustainable Tourism Council）は、持続可能な旅行・観光に関する国際標準「GSTC スタダード」を策定・管理する国際非営利団体です。国連環境計画（UNEP）や国連世界観光機関（UNWTO、現 UN Tourism）等の支援のもと 2007 年に設立され、現在では各国政府、観光局、ホテル、旅行会社、認証機関、NGO など、世界中の多様な組織・団体が、会員として参画しています。

GSTC は観光事業者を直接認証する機関ではなく、サステナブルツーリズム認証を行う第三者機関の認定をはじめ、国際スタンダードの普及や人材育成・研修などを通じて、各国の関係者と連携しながら持続可能な観光の推進を支援しています



・GSTC ホームページ（日本語）：

<https://www.gstc.org/?lang=ja>